

田村正資 『問いが世界をつくりだす メルロ＝ポンティ 曖昧な世界の存在論』

合評会

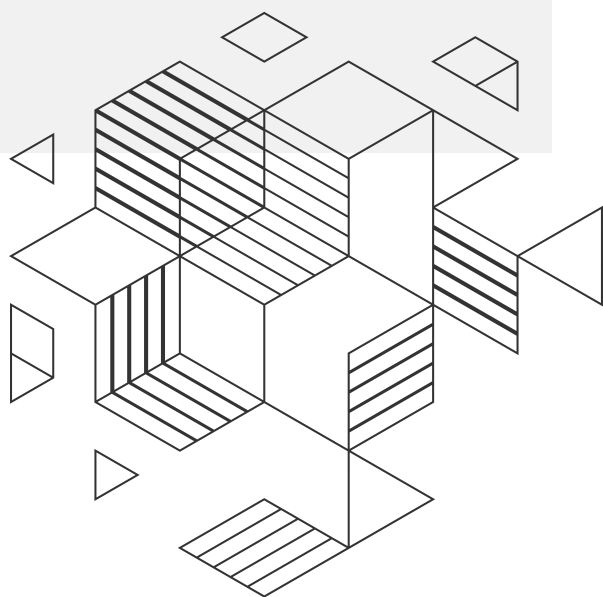
現代哲学としての現象学の可能性 II

ー『問いが世界をつくりだす メルロ＝ポンティ 曖昧な世界の存在論』（青土社、2024年）を通してー

2025年
4月5日（土）

明治大学 和泉キャンパス
和泉図書館ホール

14:00-18:00



事前登録不要



お問い合わせ:

merleaupontystudies@gmail.com

問いが世界をつくりだす

メルロ＝ポンティ 曖昧な世界の存在論

田村正資

THE WORLD EMERGES
THROUGH OUR INQUIRIES
MERLEAU-PONTY'S ONTOLOGY OF
AN INDETERMINATE WORLD

定価 本体2600円(税別)
青土社

「これはなんだろう」「どうしてこうなっているんだろう」そう問いかけるたびに、新たな世界の側面が顔を見せる。新しい経験を積み重ねるたびに、世界の新しい歩き方を手に入れる。メルロ＝ポンティの思想を精緻にひもときながら展開される、一問一答で答えられるものではないが、確かに存在する。私と世界を結びつけるあり方の哲学。

世界と私たちの、
当たり前だが
不思議な関わり

TIME TABLE



14:00-14:15 趣旨説明：國領佳樹（東京都立大学）

14:15-15:05 評者：海老澤礼人（学習院大学）

15:05-15:55 評者：川崎唯史（東北大学）

15:55-16:10 休憩

16:10-17:00 評者：池田喬（明治大学）

17:00-18:00 全体討議

*評者コメント：25分 著者リプライ：25分

主催：明治大学文学部哲学専攻

共催：メルロ＝ポンティ哲学研究会/基盤研究(C)「フランス哲学史における「知覚の行為基底の説明」の系譜」(JP24K03360)